

継続事業評価調書

【ダム事業】

与布土ダム

(与布土生活貯水池)

県土整備部

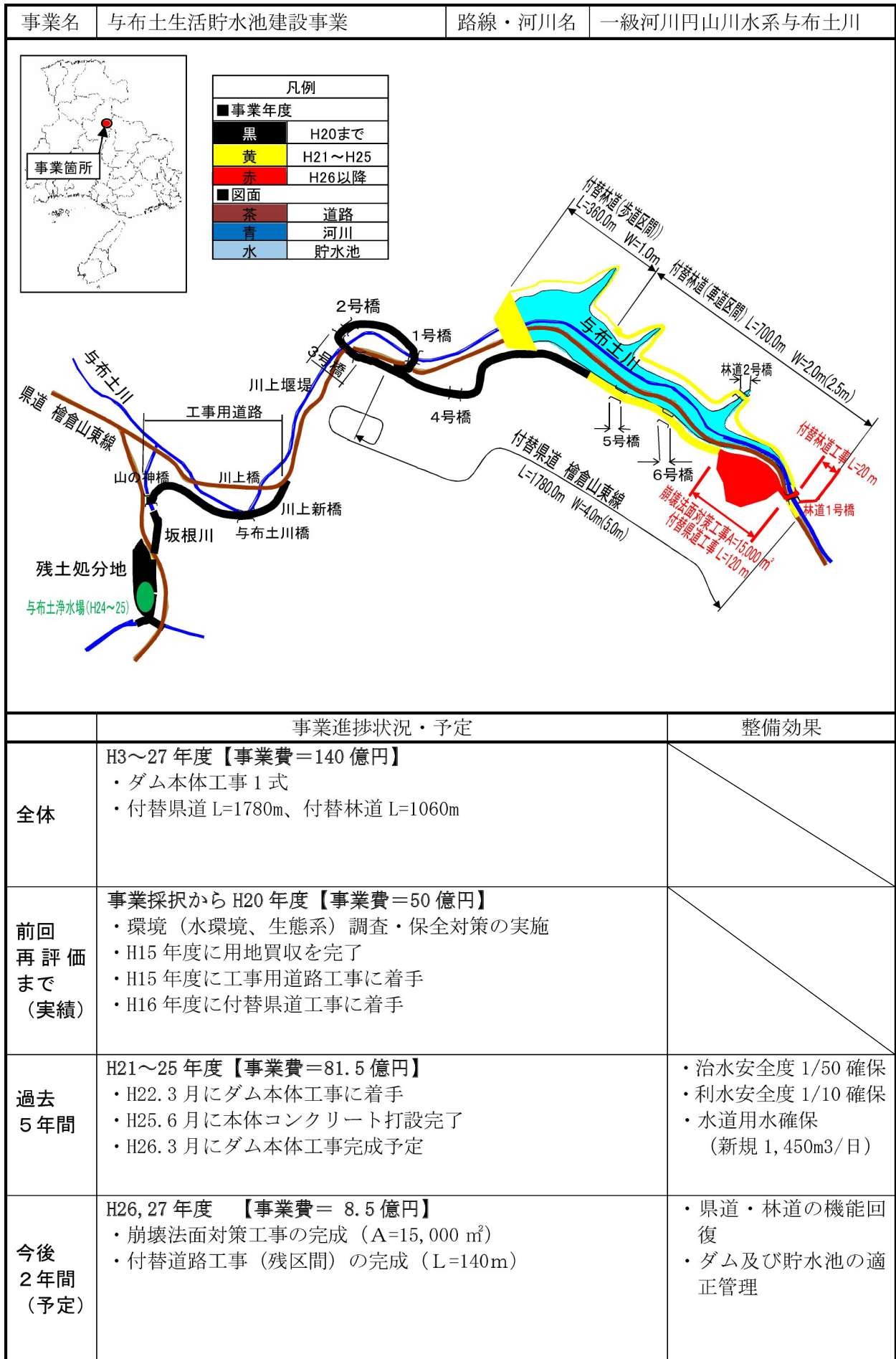
土木局 河川整備課

投資事業評価調書（継続：再評価 [第4回]）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 松本正利 (河川開発係長 福田嘉孝)	内線	4408 (4439)
事業種目	ダム事業	新規評価年度	—	現計画	前回評価時点
事業名	一級河川 円山川水系 与布土川 与布土生活貯水池建設事業	事業採択年度	H03	総事業費	140 億円
		着手年度	H15	内用地補償費	3.0 億円
事業区間	朝来市山東町与布土	再評価年度	H10(第1回)	完成予定年度	平成 27 年度
			H15(第2回)	進捗率	94%
			H20(第3回)	(内用補進捗率)	(97%)
			残事業費	8.5 億円	70 億円
事業の目的				事業内容 [前回評価時点と変更無し]	
<p>○洪水調節 与布土川沿川の洪水被害を防除する。</p> <p>○流水の正常な機能の維持 河川環境の保全等に必要な維持流量の確保及び既得取水の安定化を図る。</p> <p>○水道用水の確保（朝来市） 新たに日量 1,450m³ の水道用水の取水を可能にする。</p>				<p>型式：重力式コンクリートダム</p> <p>ダム高： 54.4m</p> <p>堤体積： 104 千 m³</p> <p>総貯水容量：1,080 千 m³</p> <p>治水安全度：1/50</p> <p>〔負担割合 治水 97.7% (国 1/2、県 1/2) 利水 2.3% (市)〕</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>与布土川沿川では、平成 16 年に加え、平成 23 年台風第 12 号でも、洪水被害が発生している。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <p>①平成 23 年台風第 12 号により、貯水池上流端付近の付替県道予定箇所の斜面が崩壊したため、平成 23～24 年度に追加ボーリング調査等を実施して対策工を検討した結果、再度災害防止のための崩壊法面対策工及び付替道路（県道・林道）の完成にさらに 2 年を要することとなり、平成 27 年度完成とする。</p> <p>②また、崩壊法面対策工（約 10 億円）、その他貯水池周辺の法面保護工・落石対策工（約 6 億円）、追加測量調査等（約 4 億円）が増額となる。</p>				
進捗状況	<p>①平成 3 年度の事業採択後、測量・調査・設計等を進め、平成 15 年度に用地買収を完了した。</p> <p>②平成 15 年度から工事着手し、付替道路の全区間 2,840m（県道 1,780m、林道 1,060m）のうち、2,700m（県道 1,660m、林道 1,040m）が平成 25 年度完成予定である。</p> <p>③平成 22 年 3 月にダム本体工事に着手し、平成 25 年 6 月に本体コンクリートの打設を完了した。現在、ダム管理用設備工事等を進めており、ダム本体は予定どおり平成 25 年度完成予定である。</p> <p>④平成 26 年度以降の残工事は崩壊法面対策工及び付替道路の未施工区間（県道 120m、林道 20m）のみである。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針 (H20 再々評価)	【審査会意見】			【対応方針】	
	継続妥当				
(1) 必要性	<p>①与布土川沿川では、昭和 62 年、平成 2, 16, 23 年にも洪水被害が発生しており、抜本的な治水対策が必要である。</p> <p>②朝来市山東町の水道水源は浅井戸や渓流水であり、安定水源を確保する必要がある。このため、朝来市は、ダム事業にあわせて与布土浄水場を建設中（平成 25 年度完成予定）である。</p> <p>③付替道路は、ダム建設に伴い水没する県道及び林道の機能復旧を図るとともに、貯水池周辺の巡視や堆積土砂の撤去等、ダム管理用道路としても必要である。</p>				
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①費用便益比 B/C=1.6（前回評価 1.8）</p> <p>②ダム事業に対する地元協力体制は整っている。さらに、地元からは早期に付替道路（県道・林道）を供用するよう強く求められている。</p>				
(3) 環境適合性	<p>①自然環境への影響を極力低減するため、学識経験者による環境保全検討委員会の提言を踏まえ、希少猛禽類対策などの環境保全対策を行いながら事業を進める。</p>				
(4) 優先性	<p>①付替道路は、ダム建設に伴い水没する県道及び林道の機能復旧を図るとともに、貯水池周辺の巡視や堆積土砂の撤去等、ダム管理用道路としても利用する。早期供用を求める地元要望も強く、必要な崩壊法面対策工を実施し早期に完成させる必要がある。</p>				
再評価の結果	継続	理由	<p>ダム本体は予定どおり平成 25 年度に完成する。付替道路も大部分が完成し、地元からも早期供用を望む声が多く、さらにダム管理用道路としても利用することから、継続して事業を実施する必要がある。</p>		

※ 前回評価時点(H20)の「内用地補償費」は 28.1 億円と記載していたが、今回、用地費・補償費のみとし、補償工事費を除いたことから、2.9 億円に修正している。

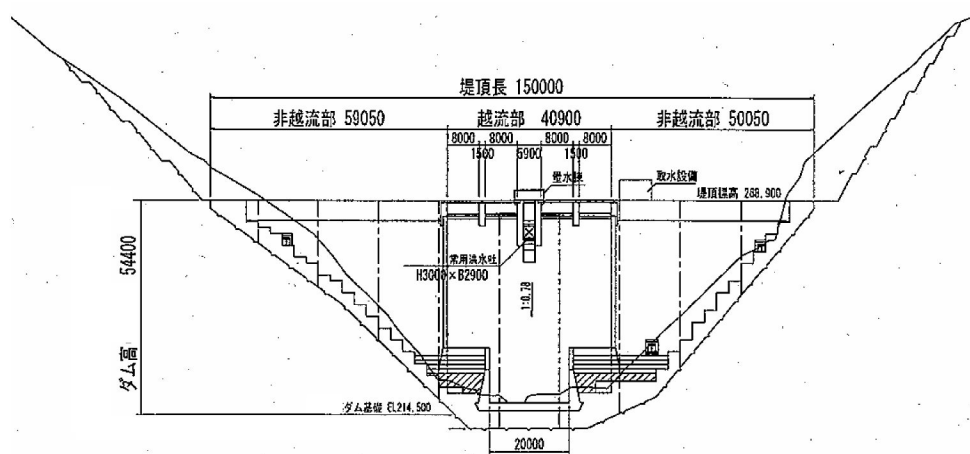
事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第4回〕）



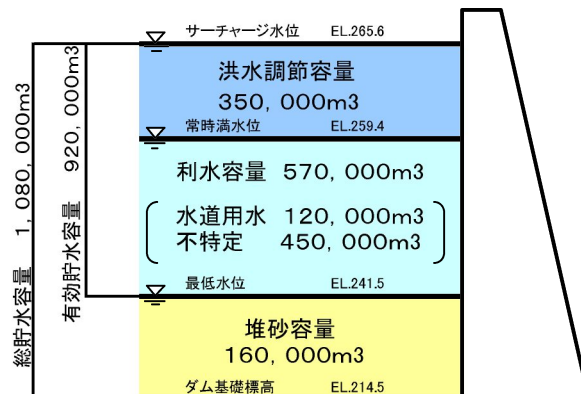
与布土生活貯水池 計画概要



下流面図



容量配分図



ダムー3

与布土生活貯水池 進捗状況

